



鉄道開業 150 周年記念 埼玉をつなぐ鉄道 西武鉄道と秩父鉄道で
昭和・平成・令和の時代を走る SL パレオエクスプレスと
新時代へ向けて走る Laview の気笛吹鳴コラボを 2022 年 5 月 7 日(土)に実施

秩父鉄道株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：大谷 隆男）および西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：喜多村 樹美男）では、鉄道開業 150 周年を迎えるあたり、昭和・平成・令和の三時代にわたって鉄道の歴史を築いてきた SL パレオエクスプレスと新時代へ向けて走る Laview がコラボして“時代を超えて、鉄道はこれからも安全に走り続けることを誓う”気笛吹鳴を、西武鉄道株式会社の会社設立日でもある 2022 年 5 月 7 日（土）12：20 頃に実施いたします。

詳細は以下のとおりです。



SL パレオエクスプレス イメージ



Laview イメージ

- (1) 実施日時 2022 年 5 月 7 日（土）12：20 頃
- (2) 実施方法 御花畑駅 12：19 発の SL パレオエクスプレス（くだり三峰口行）が、西武秩父駅横を通過する際に長い気笛を吹鳴し、これに応えるように西武秩父駅停車中の Laview（ちちぶ 26 号、西武秩父 12：24 発）が気笛を吹鳴して呼応します。
なお、Laview は通過する SL に最も近くなる西武秩父駅 3 番ホームに停車します。
- (3) その他 当日の運行状況により、変更または中止となる場合があります。

■参考

～SL パレオエクスプレスについて～

SL パレオエクスプレスとして愛される C58363 (シゴハチ サンロクサン) は、1944 年に新製され、東北地方などの旧国鉄 (現在の J R) で活躍し、1972 年に惜しまれながら廃車となった S L です。

現役引退後は、吹上町立吹上小学校 (現在の鴻巣市立吹上小学校) の校庭で小学生と一緒にのんびりと余生を送っていましたが、さいたま博覧会 (1988 年 3 月 19 日から 5 月 29 日まで熊谷市で開催) にあわせて「S L 運行を！」の声があがり、その大役に C58363 が抜擢されたのです。

1987 年に車籍を復活。1988 年に秩父路の S L パレオエクスプレスとして誕生しました。

～001 系 Laview～

これからの西武鉄道の未来を担う、新たなフラッグシップトレインとして 2019 年 3 月にデビュー。建築家・妹島和世氏監修のもと、10000 系「ニューレッドアロー」から 25 年ぶりに新型特急車両として開発されました。

車両形式「001」には、「いままでに見たことのない新しい車両」であることと、「次の 100 年に向けた出発点である車両」であることを表現するため、100 年を逆から表し「001」表記とし、「00」には「∞ (無限)」の可能性の意味と、愛称「Laview (ラビュー)」には、都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急として、多くのお客様さまに特急電車での旅を楽しんでいただきたいという想いが込められています。



◇SL パレオエクスプレスに関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 旅客案内係 TEL048-580-6363

◇西武鉄道に関するお客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間： 全日 9 時～17 時 (12/30～1/3 を除く)]